

社会科学習指導案

海南市立東海南中学校

指導者 T1 北面翔也

T2 藤本喜久

○日時 平成30年10月26日(金)

○場所・生徒数 社会科教室・2年A組35名(男子16名(悠々学級1名) 女子19名)

○本時のねらい 江戸時代の政策について考えるグループ活動を通して、江戸時代を大観し、政策の推移について文章で説明できる。

○本時の展開 ☆次のように省略する→焦点化(s), 視覚化(v), 共有化(s h)

	生徒の学習活動及び発問・予想される生徒の反応	・留意点 ○評価【観点】(方法) ※手立て
導 入	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の授業の流れを知る。 	
展 開	<p>めあて : 江戸時代の4つの政策の推移について、分かりやすい文章で説明しよう。</p>	
	<p>課題1 出来事カード(政策・社会の変化)を用いて、政策の推移表を作成しよう。(v)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで取り組む。 ・4つの政策を結びつけることに焦点をあて、背景→内容→結果を黒板に提示し、全体で共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年表作成にならないように、それぞれの政策と、政策が行われた時代の背景と結びつけながら作成する。 ・課題2に向けて、より多くの生徒の思考を揃える。
	<p>山場 : なるほど。そのときの状況に合わせて政策を行っているんだ。</p>	
	<p>課題2 4つの政策の推移について、それぞれのちがいに着目しながら文章で書こう。(s)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章記述の際、必ず使う語句を考える。 <p>予想される語句</p> <p>享保・・・農民, 財政アップ 田沼・・・株仲間, わいろ 寛政・・・儉約, 厳しい政治 天保・・・信頼回復, 大塩の乱 ・個人で取り組む。 ・課題1で得た情報を生かして、江戸時代の4つの政策の推移について文章記述をする。 ・個人で考えた文章をグループ内で共有する。(s h) </p>	<ul style="list-style-type: none"> ・課題1の全体での共有から繋げていき、各政策で使う語句を考えさせる。 <p>※どの身分に対して、政策に重点を置いたのかなどの考える視点を示す。</p> <p>○江戸時代の政策の推移について、それぞれの政策の特色を適確に捉えながら、文章で説明している。【思・判・表】(ワークシート)</p>

ま と め	○全体の場で数人が発表し、全体で共有する。(s h)	
-------------	----------------------------	--

○課題2での手立て

「4つの政策の推移」についてなので、4つの政策を繋げて説明できれば良いが、それが難しい生徒については、まず一つ一つの政策に注目させて考えさせる。各政策の文章を書いてから、それぞれの政策のちがいに着目し、繋げられるところを探して取り組むようにさせる。

例)・享保の改革

幕府の収入(米)を安定させるために、農民の力を利用した。

・田沼意次の政治

ききんなどにより収入が安定しないので、農民ではなく商人の力を利用しようとしたが、わいろなどにより、世が混乱してしまった。

・寛政の改革

混乱している世を正すため、厳しい政策を行なったが、厳しすぎた。

・天保の改革

大塩の乱により、失った幕府の信頼を取り戻すために政策を行なっていくが、うまくいかず。

○課題2での生徒の予想される説明文

財政を立て直すため、享保の改革では農民の力を利用し、田沼の政治では商人の力を利用した。しかし、わいろなどにより世の中が乱れてしまったため、世を正すために松平定信は厳しい政策を行なった。ききんへの備えをさせたが、そこから米の買い占めなどが多く起こり、人々の生活が苦しくなる。それにより大塩の乱が起こり、幕府の信頼は失った。幕府の信頼回復のために天保の改革は行われた。

享保の改革と田沼意次の政治は、財政を立て直すために行なわれた政治である。寛政の改革は、世の乱れを正すために厳しい政策を行い、質素な生活をさせ、ききんに備えて蓄えさせた。天保の改革は、失った幕府の信頼を取り戻すために、今まで行われた政策と同じようなことをしている。

4つの政策の推移表

	享保の改革	田沼意次の政治	寛政の改革	天保の改革
背景	財政難	財政難	世と正すため	信頼回復
幕府	<p>財政収入アップ</p> <p>新田開発奨励</p> <p>ききん</p>	<p>農民に頼りすぎた</p> <p>ききん</p>	<p>経済が混乱</p> <p>厳しい政治</p> <p>朱子学の奨励</p>	<p>上知令</p> <p>奥国船打松令をやる</p>
農民	<p>米生産(増) 年貢(増)</p> <p>百姓一揆 打ちこわし</p>	<p>農地の開拓</p> <p>失敗</p>	<p>ききんへの備え 儉約</p> <p>旧里帰農令</p>	<p>一揆 打ちこわし</p>
商人	<p>公事方御定書</p> <p>目安箱</p> <p>都市の発展</p>	<p>株仲間奨励</p> <p>わい子</p> <p>都市の人口流出</p>	<p>人足寄場</p> <p>木の買い占め</p>	<p>株仲間解散</p>

大塩の乱